

- Adaptive Path System Data Analyzer for Healthcare Quality, Proc. 20th AQS, 2006.
- ・ Ryota AKAI, Dr. Satoko TSURU, Dr. Yoshinori IIZUKA, Dr. Masahiko MUNECHIKA, Shinichi YOSHII: Construction of the Coordinated Medical Treatment System by Design of the Regional Alliance Path, Proc. 20th AQS, 2006.
 - ・ 水流 聡子: 質安全を保証する患者状態適応型パス統合化システム—DPC 評価ツール・質経営ツールとしての PCAPS—, 日本クリニカルパス学会誌, Vol. 8 No. 4, p358, 2006
 - ・ 水流聡子, 棟近雅彦, 飯塚悦功: 誌上アドバイスで疑問を解決! 応用編 クリニカルパス作成講座 患者状態適応型パス, ナース専科, 26 巻 4 号 Page82-87, 2006
 - ・ 水流 聡子: 患者状態適応型パス(1)-ねらいと構成-, すくえあ, August No. 526, pp8-12, 2006
 - ・ 水流 聡子: 患者状態適応型パス(2)-臨床プロセス標準化とその価値-, すくえあ, September No. 527, pp20-27, 2006
 - ・ 水流聡子, 飯塚悦功, 棟近雅彦: 視点 医療の質・安全を保証する患者状態適応型パスシステム(PCAPS), 保険診療, 61 巻 7 号 Page113-117, 2006
 - ・ 水流聡子: 教育講演 I 患者状態適応型パスと POS, 日本 POS 医療学会雑誌, Vol. 12 No. 1, pp15-35, 2007
 - ・ 伊藤宏之, 中山治彦, 加藤靖文, 浅野久敏, 中里顕英: 呼吸器外科クリニカルパスでの SSI の把握と SSI 回復パス, 日本外科感染症学会雑誌, vol. 3 suppl 2006, p387, 2006
 - ・ 二井谷友公, 蒲生真紀夫, 長島高宏: 患者状態適応型パスシステム(PCAPS)による出血性消化性潰瘍パスの作成と多施設検証の試み, 日本消化器内視鏡学会雑誌, vol. 48, suppl. 2 p2112, 2006
 - ・ 蒲生真紀夫, 二井谷友公, 長島高宏, 阿子島裕則: 患者状態適応型パスシステム(PCAPS)による総胆管結石内視鏡治療パスの作成と多施設検証の試み, 日本消化器内視鏡学会雑誌, vol. 48, suppl. 2 p2211, 2006
 - ・ 蒲生真紀夫, 水流聡子, 棟近雅彦, 飯塚悦功: 患者状態適応型パスシステム(PCAPS)による胆管結石内視鏡治療パスの作成と分析の試み, 日本マネジメント学会雑誌, 7-1 p142, 2006
 - ・ 蒲生真紀夫: 患者状態適応型パスと内科系疾患における診療プロセスの標準化, 日本クリニカルパス学会誌, vol. 8 No. 4, p405, 2006
 - ・ 織田順, 山下勝之, 井上卓也, 上尾光弘, 青木良記, 河西克介, 上山昌史: 患者状態適応型パスシステムを用いた急性薬物(眠剤)中毒パスの構築, 中毒研, 19 巻 4 号 Page430-432, 2006
 - ・ 青儀健二郎, 高嶋成光, 新海哲, 河村進, 船田千秋, 岸本美子: 乳癌患者状態適応型クリニカルパスの作成とその検証, 日本癌治療学会誌, 41 巻 2 号 Page640, 2006
 - ・ 蒲生真紀夫, 二井谷友公, 長島高宏, 阿子島裕倫: 患者状態適応型パスシステム(PCAPS)による総胆管結石内視鏡治療パスの作成と多施設検証の試み, Gastroenterological Endoscopy, 48 巻 Suppl. 2 Page2211, 2006
 - ・ 二井谷友公, 蒲生真紀夫, 長島高宏: 患者状態適応型パスシステム(PCAPS)による出血性消化性潰瘍パスの作成と多施設検証の試み, Gastroenterological Endoscopy, 48 巻 Suppl. 2

Page2112, 2006

- ・久保実：小児科もパスを作ろう 小児救急医療におけるクリニカルパス 小児科におけるパス導入の経験, 日本臨床救急医学会雑誌, 9巻4号 Page348-352, 2006
- ・原義人：脳梗塞の患者状態適応型クリニカルパス“PCAPS”と, その西多摩地区脳梗塞医療連携への拡大(青梅プロジェクト), 全国自治体病院協議会雑, 45巻7号 Page976-981, 2006
- ・貴田岡正史：【対論 糖尿病診療】 糖尿病診療におけるクリニカルパスの有用性 Cons 患者状態にいかに対応した医療を行うか 医療の標準化と質の確保との両立, 糖尿病診療マスター, 4巻4号 Page486-492, 2006
- ・佐野雅隆, 棟近雅彦, 飯塚悦功, 水流聡子：患者状態適応型パス(PCAPS)のDPC対応に関する研究, 医療マネジメント学会雑誌, 7巻1号 Page164, 2006
- ・永江浩史, 田中良典, 吉井慎一, 棟近雅彦, 水流聡子, 飯塚悦功：急性腎盂腎炎緊急入院に対応する患者状態適応型パス(PCAPS)の検証, 医療マネジメント学会雑誌, 7巻1号 Page143, 2006
- ・宮澤秀樹, 栗原正利, 奥村栄, 伊藤志門, 間瀬憲多朗, 矢野真：患者状態適応型クリニカルパス 気胸治療における検証, 日本呼吸器外科学会雑誌, 20巻3号 Page858, 2006
- ・片岡秀之, 柿澤公孝, 栗原正利：当院における気胸治療の患者状態適応型パスの作成とその有用性, 日本呼吸器外科学会雑誌, 20巻3号 Page857, 2006
- ・吉井慎一, 永江浩史, 田中良典, 副島秀久：患者状態適応型パス統合システム(PCAPS)による経尿道的前立腺切除術パスの検討, 日本泌尿器科学会雑誌, 97巻2号 Page319, 2006
- ・永江浩史, 田中良典, 吉井慎一, 副島秀久：UTI 緊急受診患者に対する患者状態適応型パス(PCAPS) 臨床プロセスチャートの試作, 日本泌尿器科学会雑誌, 97巻2号 Page319, 2006
- ・田中良典, 永江浩史, 吉井慎一, 副島秀久：患者状態適応型パス統合システム(PCAPS)による前立腺全摘術パスの使用経験, 日本泌尿器科学会雑誌, 97巻2号 Page318, 2006
- ・吉田 茂：川崎病の臨床プロセスチャート検証(予定), 近畿川崎病研究会, テイジンホール, 大阪市, 3月3日, 2007
- ・吉田 茂：病院経営管理とクリニカルパス(予定), 小野市民病院講演, 小野市民病院, 小野市, 2月7日, 2007
- ・吉田 茂：患者状態適応型パスとDPC, 日本クリニカルパス学会, 熊本県立劇場コンサートホール, 熊本市, 11月18日, 2006
- ・吉田 茂：患者状態適応型パス検証結果の報告(小児科領域), 日本クリニカルパス学会, 熊本県立劇場コンサートホール, 熊本市, 11月17日, 2006
- ・吉田 茂：患者状態適応型パス検証結果の報告(小児科領域), 日本小児科学会兵庫県地方会, 姫路キャスパホール, 姫路市, 9月23日, 2006
- ・吉田 茂：電子カルテにおけるクリティカルパス—市販データベースソフトを用いたクリティカルパスシステム—, 日本医療マネジメント学会, パシフィコ横浜, 横浜市, 6月16日, 2006
- ・吉田 茂：医療者自らが作成する診療情報システム—ファイルメーカー版患者状態適応型パスシステム(PCAPS)—, 医療マネジメント学会福井県地方会講演, 福井医療短期大学, 福井市, 5月21日, 2006

- ・青儀健二郎、高嶋成光、新海 哲、河村 進、舩田千秋、岸本美子：厚生労働科学研究班による乳癌診療クリニカルパスの標準化の試み，第 7 回日本クリニカルパス学会学術総会，熊本，11/18，2006
- ・伊藤志門（名古屋大学医学部 呼吸器外科）：肺癌手術における術後経過に及ぼす要因 ～クリニカルパスでの検討～，第 23 回 日本呼吸器外科学会総会，横浜，5 月 25～27 日，2006
- ・伊藤志門（名古屋大学医学部 呼吸器外科）：気胸治療における患者状態適応型クリニカルパスの検証，第 10 回 日本気胸・嚢胞性肺炎患者学会総会，横浜，9 月 8～9 日，2006
- ・伊藤志門（名古屋大学医学部 呼吸器外科）：肺癌手術におけるクリニカルパスの適応 ～いかにリスクを評価するか～，第 7 回 日本クリニカルパス学会総会，熊本，11 月 17～18 日，2006
- ・深谷 由希子，伊藤 志門：呼吸器外科術後患者の利尿剤使用についての検討，第 7 回日本クリニカルパス学会総会，11 月 17～18 日，2006
- ・中道 朝香，伊藤 志門：看護師によるアウトカム評価の検討，第 7 回 日本クリニカルパス学会総会，熊本，11 月 17～18 日，2006
- ・吉田 茂：医療安全と質を保証する患者状態適応型クリニカルパス， 社団法人愛知県看護協会講演， 名古屋国際会議場，名古屋市， 1 月 17 日， 2007
- ・吉田 茂：クリニカルパスについて－基礎から最新事情まで－， 成田記念病院講演，成田記念病院， 愛知県豊橋市， 10 月 27 日， 2006
- ・吉田 茂：患者状態適応型パスを解剖する「患者状態適応型パス運用システムの実際」，近畿クリニカルパス研究会講演， 国立大阪医療センター， 大阪市， 10 月 21 日， 2006
- ・吉田 茂：患者状態適応型パス（PCAPS）を用いた小児市中肺炎の標準化について， 山梨小児標準医療研究会講演， 山梨大学医学部附属病院， 山梨県中央市， 9 月 13 日， 2006
- ・吉田 茂：小児科領域での地域連携パスの試み，京都西南部小児科地域連携の会講演，京都リサーチパーク， 京都市， 10 月 14 日， 2006
- ・蒲生真紀夫：患者状態適応型パスシステムと医療連携パス，宮城県診療情報管理研究会，4 月 22 日，仙台市，仙台医療センター講堂，2006
- ・蒲生真紀夫：「患者状態適応型パスとは？ 診療面および経営面からの評価」，NEC 医療セミナー in Tokyo 2007，京都，NEC 本社ビル， 2 月 23 日， 2007
- ・高橋真冬：患者状態適応型パスシステムを用いた地域連携用パス，日本病院会 医療の質を考えるセミナー，青梅市立総合病院 東京都青梅市， 4 月 29 日， 2006
- ・高橋真冬：患者状態適応型パスシステムを用いた地域連携用パス，第 11 回愛知クリニカルパス研究会 特別講演，愛知県名古屋市，名古屋第二赤十字病院， 6 月 10 日， 2006
- ・高橋真冬：患者状態適応型パスを用いた脳梗塞の地域医療福祉連携用パス，武蔵野・三鷹・小金井医師会および職員研修会講演，武蔵野赤十字病院，東京都武蔵野市， 7 月 31 日， 2006
- ・高橋真冬：患者状態適応型パスシステムによる脳梗塞の地域医療福祉連携，第五回東北厚生年金病院クリニカルパス大会 講演，東北厚生年金病院，宮城県仙台市， 10 月 31 日， 2006

日, 2006

- ・高橋眞冬：患者状態適応型パスシステムによる脳梗塞の地域医療福祉連携「患者情報シート」の効用, 西多摩医師会講演, 青梅市立総合病院 東京都青梅市, 11月06日, 2006
- ・水流聡子、棟近雅彦、飯塚悦功：患者状態適応型パス「プロセス管理」と「標準化」の組み込み一. パス最前線, pp18-19, 2005
- ・岸村俊哉、水流聡子、飯塚悦功、棟近雅彦：患者状態適応型パスデータの活用—患者データ構造と臨床プロセス解析に関する研究—. 日本品質管理学会第77回年研究発表会研究発表要旨集, 2005, pp27-30
- ・松本健、水流聡子、飯塚悦功：移動先決定プロセスモデルの設計. 日本品質管理学会第77回年研究発表会研究発表要旨集, 2005, pp31-34
- ・高橋宏行、水流聡子、飯塚悦功：転倒・転落事故における患者リスク評価方法の提案. 日本品質管理学会第77回年研究発表会研究発表要旨集, 2005, pp39-42
- ・水流聡子、飯塚悦功、棟近雅彦：質安全保証を実現する患者状態適応型パスの開発—臨床プロセスチャートのカルテ検証調査—. 日本品質管理学会第77回年研究発表会研究発表要旨集, 2005, pp23-26
- ・飯塚悦功、水流聡子、棟近雅彦：患者状態適応型パスシステムに込めた医療質マネジメントの思想. 看護管理, Vol. 15 No. 11, pp886-891, 2005
- ・水流聡子、棟近雅彦、飯塚悦功：患者状態適応型パスによる標準臨床プロセスの可視化と電子化. 看護管理, Vol. 15 No. 11, pp898-906, 2005
- ・棟近雅彦、水流聡子、飯塚悦功：患者状態適応型パスによる標準臨床プロセスの実施と医療質安全保証. 看護管理, Vol. 15 No. 11, pp892-897, 2005
- ・棟近雅彦、水流聡子、飯塚悦功：患者状態適応型パスと医療の質安全保証. 医療マネジメント学会雑誌, 6-1, 第7回医療マネジメント学会学術総会抄録, p115
- ・飯塚悦功、水流聡子、棟近雅彦：医療の質安全保証と医療質経営, 6-1, 第7回医療マネジメント学会学術総会抄録, p115
- ・水流聡子、棟近雅彦、飯塚悦功：ツールとしての患者状態適応型パスシステム. 医療マネジメント学会雑誌, 6-1, 第7回医療マネジメント学会学術総会抄録, p116
- ・赤井亮太、水流聡子、飯塚悦功、棟近雅彦、吉井慎一：患者状態適応型パスを用いた地域連携のためのパス設計—地域連携パス作成プロセスの提案—. 日本品質管理学会第35回年次大会 研究発表会 研究発表要旨集, 2005, pp61-64
- ・岸村俊哉、水流聡子、飯塚悦功、棟近雅彦：PCAPS Analyzer: 患者状態適応型パスデータ分析システムの構築. 日本品質管理学会第35回年次大会 研究発表会 研究発表要旨集, 2005, pp65-68
- ・加藤省吾、水流聡子、高橋眞冬、飯塚悦功：“退院の質”向上を目指す退院調整業務プロセスの設計. 日本品質管理学会第35回年次大会 研究発表会 研究発表要旨集, 2005, pp73-76
- ・急性期病院での退院調整における転院先決定プロセスの設計—療養型病院および福祉施設における受け入れ条件の特定—. 日本品質管理学会第35回年次大会 研究発表会 研究発表要旨集, 2005, pp77-80

- ・飯塚悦功：患者状態適応型パスシステムに込めた医療質マネジメントの思想. 日本クリニカルパス学会誌 第6回日本クリニカルパス学会学術集会抄録集, 2005. Vol. 7 No. 3 (P267)
- ・水流聡子、棟近雅彦、飯塚悦功：患者状態適応型パスで可視化される臨床実践プロセス. 日本クリニカルパス学会誌 第6回日本クリニカルパス学会学術集会抄録集, 2005. Vol. 7 No. 3 (P268)
- ・棟近雅彦、水流聡子、飯塚悦功：プロセス標準化がもたらす質安全保証と質経営. 日本クリニカルパス学会誌 第6回日本クリニカルパス学会学術集会抄録集, 2005. Vol. 7 No. 3 (P268)
- ・飯塚悦功：医療の質安全保証と医療質経営を実現する患者状態適応型パスシステム. 第25回医療情報学連合大会抄録集, 2005, pp152-153
- ・水流聡子、棟近雅彦、飯塚悦功：患者状態適応型パスによる医療安全と質保証—標準化と臨床プロセス管理による持続成長可能な医療の質改善システム—. 第25回医療情報学連合大会抄録集, 2005, pp154-157
- ・飯塚悦功、棟近雅彦、水流聡子：医療の質安全保証を実現する患者状態適応型パス[事例集 2005年版], 日本規格協会, 東京, 2005
- ・飯田修平、飯塚悦功、棟近雅彦：医療の質用語辞典, 日本規格協会, 東京, 2005
- ・Shogo KATO, Satoko TSURU, Yoshinori IIZUKA: Study of a Model for the Discharge Coordinating Process - Development of the "Unit for Coordinating Home Care" based on the "Model for Elderly Care Plans". 3rd Asian Network for Quality Congress, Taipei, Taiwan, September 20-23, 2005, CD-ROM total 8p(full paper)
- ・Toshiya KISHIMURA, Satoko TSURU, Yoshinori IIZUKA: Development of Patient Condition Adaptive Path Data Analyzer. 3rd Asian Network for Quality Congress, Taipei, Taiwan, September 20-23, 2005, CD-ROM total 7p (full paper)
- ・Hiroyuki TAKAHASHI, Satoko TSURU, Yoshinori IIZUKA: A Method for Risk Assessment of Patient's Falls in Hospital. 3rd Asian Network for Quality Congress, Taipei, Taiwan, September 20-23, 2005, CD-ROM total 3p (full paper)
- ・Tetsuo SHIWAKU, Masaaki KANEKO, Satoko TSURU, Yoshinori IIZUKA, Masahiko MUNECHIKA: Inhibition Factors in Implementing and Promoting QMS in a Hospital. 3rd Asian Network for Quality Congress, Taipei, Taiwan, September 20-23, 2005, CD-ROM total 6p (full paper)
- ・Takeshi Matsumoto, Satoko Tsuru, Yoshinori Iizuka, Shogo Kato, Kenichi Uchida, Tetsuo Shiwaku, Mafuyu Takahashi: Designing a Discharge Coordinating Process Model -Designing a Fixing a Chronic Hospital or Nursing-Care Facility Process. 3rd Asian Network for Quality Congress, Taipei, Taiwan, September 20-23, 2005, CD-ROM total 5P (full paper)
- ・飯塚悦功：診療プロセス質保証システムの確立 —質保証のための標準化の意義と方法論—. 第24回医療情報学連合大会抄録集, 2004, p138
- ・飯塚悦功, 信友浩一：クリニカルパスを基軸とした診療プロセス質保証システムの確立.

第 24 回医療情報学連合大会抄録集, 2004, p138

・ 水流聡子, 飯塚悦功: 患者状態適応型クリニカルパス —多様性を考慮した診療プロセス標準化への道—. 第 24 回医療情報学連合大会抄録集, 2004, p139・ 水流聡子・ 飯塚悦功: 患者状態適応型クリニカルパスとは? —医療の質マネジメントの視点から—, Nursing Today, 19 (11) 別冊, 67-69, 2004

・ 津久間秀彦, 水流聡子, 飯塚悦孝, 高橋真冬, 矢野真, 永井庸次: 患者参画型チーム医療の設計—“患者本位”と“安全管理”の視点の組み込み—. 医療情報学 Vol.24 No.1 (April2004) pp237-240

・ Shogo KATO, Satoko TSURU, Mafuyu TAKAHASHI, Yoshinori IIZUKA: Development of a model for elderly care plans based on analysis of the reality in providing cares. 2nd Asian Network for Quality Congress, New Deli, India, August 15-19, 2004, CD-ROM total 8p (full paper)

・ Tetsuo SHIWAKU, Mafuyu TAKAHASHI, Satoko TSURU, Yoshinori IIZUKA: Design the Clinical Decision Analysis Model. 2nd Asian Network for Quality Congress, New Deli, India, August 15-19, 2004, CD-ROM total 8p (full paper)

・ 水流聡子, 飯塚悦功, 棟近雅彦, 永井庸次, 飯田修平: 「患者状態を基軸とする医療」を支援する患者状態適応型クリニカルパスシステムの開発. 日本品質管理学会第 34 回年次大会研究発表要旨集, 2004, pp23-26

・ 塩飽哲生 高橋真冬 水流聡子 飯塚悦功: 病態因果メカニズムの知識と構造化. 日本品質管理学会第 34 回年次大会研究発表要旨集, 2004, pp19-22

・ 飯塚悦功: ISO 9000 のこれまでとこれから, クオリティマネジメント, 54(1), 8-14, 2003

・ 上原鳴夫, 黒田, 飯塚悦功, 棟近雅彦, 小柳津正彦: 医療の質マネジメントシステム～医療機関における ISO 9001 の活用～, 日本規格協会, 2003.

・ 「TR Q 0006 自己評価の指針」活用研究会編, TR Q 0006 「クオリティマネジメントシステム—自己評価の指針」活用ガイド, 日本規格協会, 2003.

・ Shogo Kato, Takayuki Imai and Yoshinori Iizuka : A Model for Creating Elderly Care Plans, Proc. 17th Asia Quality Symposium, 41-48, 2003.

・ T. Shiwaku, K. Gemba and Y. Iizuka : The Process Flow for Diagnosis to Guarantee Quality of Healthcare Proc. 17th Asia Quality Symposium, 78-84, 2003.

・ Masahiro Imai, Yuki Matsukawa, Yasuhiko Tamura and Yoshinori Iizuka : A Study on Knowledge Structures for Proactive Prevention of Failures on Process Design, Proc. 17th Asia Quality Symposium, 188-195, 2003.

・ Yoshie Hiraoka, Shizuo Ito and Yoshinori Iizuka : Clinical Pathway Adaptive to Patient Condition Proc. 17th Asia Quality Symposium, 603-609, 2003.

・ Tepei Isayama, Naoko Yokoi and Yoshinori Iizuka : Error Prediction and Prevention by Structured Knowledge in Medication Process. Proc. 17th Asia Quality Symposium, 616-621, 2003.

・ Yuki Matsukawa, Masahiro Imai, Yasuhiko Tamura and Yoshinori Iizuka : Predictive Analysis of Failure Mechanisms based on Restructuring Process FMEA Proc. 17th Asia

Quality Symposium, 892-897, 2003.

- ・飯塚悦功：組織の成長・発展のカギとなる QMS の有効活用, JQA ISO Network, 1, 2-7, 2003.
- ・飯塚悦功：ISO を切り拓いた人々たち, アイソムズ, 2003 October, Vol.97, 12-15, 2003.
- ・飯塚悦功：ISO 9001:2000 の有効活用, 標準化と品質管理, 56(8), 14-18, 2003
- ・飯塚悦功：「医療の質」への取り組みの原則, 病院, 62(7), 578-579
- ・飯塚悦功：社会技術としての医療安全技術～システム工学からみた安全文化～, インターナショナルナーシングレビュー, 26(4), 66-72, 2003.
- ・飯塚悦功：新 QMS モデルへの挑戦, 標準化と品質管理, 56(6), 4-13, 2003
- ・飯塚悦功：丸山昇, 慈道順一, 超 ISO 企業, 日科技連出版, 東京, 2003.
- ・飯塚悦功：社会技術としての医療安全, 社会保険旬報,
- ・飯塚悦功：体制内改善から体制の建設的否定へ～QMS の革新を唱える三層構造モデルを提起～, アイソス, 66, 20-28, 2003.
- ・飯塚悦功, 平岡佳恵：クリニカルパスによる医療プロセス標準化への道, Progress in Medicine, 23(5), 1359-1364, 2003.
- ・飯塚悦功：ISO 9000:2000 改訂の意図(1), ISO 9001:2000 の基本的性格, クオリティマネジメント Quality Management, 53(1), 62-66, 2002.
- ・飯塚悦功：ISO 9000:2000 改訂の意図(2), ISO 9001 の QMS, クオリティマネジメント Quality Management, 53(2), 61-65, 2002.
- ・Yoshinori Iizuka, Quality Policy, Quality Objectives, and Planning, Charles A. Cianfrani, Joseph J. Tsiakals and John E. (Jack) West ed., The ASQ ISO 9000:2000 Handbook, Chapter 14, 158-179, 2002.
- ・田村泰彦, 飯塚悦功：不具合に関する設計知識の運用に関する研究～不具合に至る因果連鎖の知識構造の構築～, 品質 Quality, 32(1), 122-135, 2002.
- ・Yoshihiro Mori, Kenichi Uemura, and Yoshinori Iizuka : Whole-Surface Analysis of Semiconductor Wafers by Accumulating Short-Time Mapping Data of Total-Reflection X-ray Fluorescence Spectrometry, Analytical Chemistry, 74, 1104-1110 (2002).
- ・森良弘, 上村賢一, 飯塚悦功：多点マッピング全反射蛍光 X 線分析によるシリコンウェハ全面平均濃度分析に関する統計学的検討, X 線分析の進歩 33 集, 155-174 (2002).
- ・Yoshihiro Mori, Kenichi Uemura, and Yoshinori Iizuka: Statistics for the accumulation of multi-point mapping of TXRF for the whole-surface analysis of silicon wafers, Advances in X-ray Chemical Analysis, Japan, 33, 155-174(2002).
- ・飯塚悦功：医療プロセスにおけるエラー防止－システム工学の立場から, クリニシャン Clinician; vol.49, no.510, 104-112.
- ・飯塚悦功：新しいクオリティマネジメントの原則, 標準化と品質管理 Standardization and Quality Control, 55(6), 32-39, 2002.
- ・飯塚悦功, 金子龍三：問題発見力・問題分析力を高める, 品質 Quality, 32(2), 25-34, 2002.
- ・Yasuharu Nishi and Yoshinori Iizuka : Resource Oriented Stress Testing, Systems and Computers in Japan (採録判定済・出版準備中)

- ・ Yasuharu Nishi and Yoshinori Iizuka : Design of Configuration Testing, Systems and Computers in Japan (採録判定済・出版準備中)
- ・ 飯塚悦功 : ISO 9001:2000 の有効活用－総括－標準化と品質管理 Standardization and Quality Control, 55(8), 37-44, 2002.
- ・ Tomomichi Suzuki, Takayuki Imai, Toru Yaezawa, Tadahiro Wakasugi, Yoshinori Iizuka, and Yoshikazu Ojima A Process Model for Deciding Elderly Cares The Asian Journal on Quality, 3(1), 145-152, 2002.
- ・ 飯塚悦功:医療社会システムのあるべき姿を求めて,看護部マネジメント編, No. 150, 54-60, 2002
- ・ 飯塚悦功, 棟近雅彦, 住本守, 加藤重信 : ISO 9000 要求事項及び用語の解説, 日本規格協会, 東京, 2002.
- ・ Yoshie Hiraoka, Shizuo Ito and Yoshinori Iizuka : Clinical Pathway Adaptive to Patient Condition Proc. 16th Asia Quality Symposium, 228-236, 2002.
- ・ Takayuki Imai, Shogo Kato, Tomomichi Suzuki and Yoshinori Iizuka : A Model for Creating Elderly Care Plans Proc. 16th Asia Quality Symposium, 237-244, 2002.

【特許出願】

- ・ 飯塚悦功, 水流聡子, 棟近雅彦 : 医療プロセスチャート作成支援装置 出願番号 : 特願 2005-321372
- ・ 飯塚悦功, 水流聡子, 棟近雅彦 : 医療プロセス質管理システム, 医療プロセス質管理方法 出願番号 : 特願 2006-547849
- ・ 飯塚悦功, 水流聡子, 棟近雅彦, 株式会社竹中工務店 : 実施行為支援装置及び実施行為支援プログラム 出願番号 : 特願 2007-260625
- ・ 飯塚悦功, 水流聡子, 棟近雅彦, 株式会社サイバー・ラボ, 株式会社竹中工務店 : 実施計画統合支援システム及び実施計画統合支援プログラム 出願番号 : 特願 2007-303667

【商標登録】

- ・ 飯塚悦功・水流聡子・棟近雅彦 : PCAPS Builder/ヒューマンビルダー 出願番号 : 商願 2006-5785, 区分 : 国際分類第9類, 登録番号 : 第4994162号
- ・ 飯塚悦功・水流聡子・棟近雅彦 : PCAPS Administrator/ヒューマン・アドミニストレーター 出願番号 : 商願 2006-5786, 区分 : 国際分類第9類, 登録番号 : 第4994163号
- ・ 飯塚悦功・水流聡子・棟近雅彦 : PCAPS Analyzer/ヒューマン・アナライザー 出願番号 : 商願 2006-5787, 区分 : 国際分類第9類, 登録番号 : 第4994164号
- ・ 飯塚悦功・水流聡子・棟近雅彦 : PCAPS/ヒューマン 出願番号 : 商願 2006-5782, 区分 : 国際分類第9類, 登録番号 : 第5002964号
- ・ 飯塚悦功・水流聡子・棟近雅彦 : Intelligence Modeling Technology 出願番号 : 商願 2006-5784, 区分 : 国際分類第9、42類, 登録番号 : 第5002965号
- ・ 飯塚悦功・水流聡子・棟近雅彦 : 患者状態適応型パス 出願番号 : 商願 2006-5781, 区分 : 国際分類第9類, 登録番号 : 第5111059号

・飯塚悦功・水流聡子・棟近雅彦：PCAPS/患者状態適応型パス 出願番号：商願 2007-18032,
区分：国際分類第9類